

特別法要・講演会のご案内

観音講・地蔵講法要

特別法要 ノーベル文学賞作家

川端康成先生 没後50年 追善法要

令和4年 **11月1日** (火) 午前10時～11時30分

9時30分 受付

10時 観音講・地蔵講法要 引き続き 追善法要

11時 講演「川俣従道先生の川端康成」講師 玉城 司 氏



【講師紹介】 玉城 司 氏 (たまき つかさ)
1953年1月9日長野市大字小鍋 (小田切) 生れ。
1987年早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了。
現在 信州古典研究所代表
清泉女子大学人文科学研究所客員所員。

編著書

『蕪村句集 現代語訳付き』
(角川ソフィア文庫、2011年2月)

『一茶句集 現代語訳付き』
(角川ソフィア文庫、2013年8月)

『真田幸弘点取百韻 翻刻と解題』
(小幡伍共編、勉誠出版、2021年2月) など

入場
無料

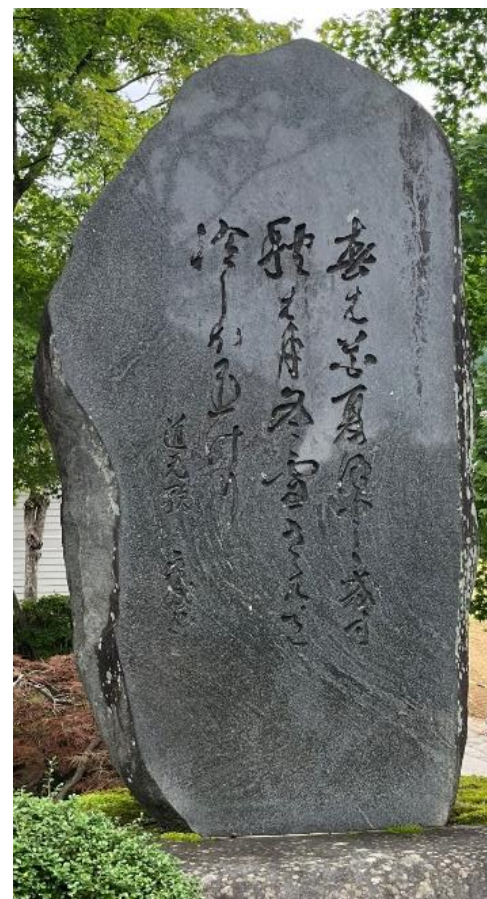
- ・川端康成先生の手紙など特別展示
- ・長野市文化財 観音堂・算額公開
(121体観音菩薩像安置)
- ・長野市文化財 経蔵 (輪蔵) 公開

お願い

来場の際、マスクの着用を
お願いします。入場時に検
温手指消毒を実施します

要申し込み 先着順130名

お問合せ先 松巖寺 026-256-2061



【文学碑】
春は花 夏ほととす 秋は月
冬雪さえて 冷しかりけり
(曹洞宗開祖 道元禪師歌)

【碑 陰】

川端康成先生は、昭和十一年当村を訪れ「牧歌」を上梓す。以来裾花遊行を熱望されるも、ついにその折りを得ず。終生、人と自然を愛し、諸々への邂逅と別離の哀歎を澄明な感覚と冷えた抒情で描き、終始、日本の伝統美を追求す。その偉業により昭和四十三年ノーベル文学賞を受賞される。

又、禅に参じ、生涯一求道者として、道元禪師に深く傾倒す。山深い源氏伝説の里、当村を来訪されし因縁を尊び、道徳を敬慕し、茲に先生の墨跡を刻して後世にその偉風を伝え、永久にこれを記念すべく有志一同相はかり、文学碑の建立をなす。

昭和五十六年六月 川俣従道 謹書